

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2023年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第6回講義

みどりの食料システム戦略の実現に向けた
イノベーションによる生産力向上と持続性の両立について

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課長

松本 賢英 氏

松本先生からのメッセージ

気候変動による食料生産の不安定化や世界的な人口増加等に伴う食料争奪の激化など、食料がいつでも安価に輸入できる状況が続かないことは明白となっています。他方、国内の農林水産業においては、担い手の減少による供給力不足が喫緊の課題となっており、生産力向上により食料安全保障を抜本的に強化することが求められています。加えて、温室効果ガス削減や生物多様性の維持など、農林水産業を環境と調和のとれた産業へと転換することも求められています。

本講義では、生産力向上と持続性の両立に向けてカギとなる、ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用した農業技術(スマート農業)の動向やスタートアップの取組について紹介します。

日時: 5月26日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法:

オープンホールによる対面授業

松本 賢英 先生

平成7年 北海道大学大学院農学研究科修士課程修了。

平成7年 農林水産省に入省。

在スペイン日本大使館、副大臣秘書官、生産局技術普及課課長補佐、経済産業省産業技術環境局総務課成果普及・連携推進室長、農林水産省大臣官房政策課技術政策室長等を歴任。

令和4年6月より現職。

担当:工学系教育研究センター 小崎 完教授